



仙台89ERS地域密着NO1への挑戦  
ナイナーズがつなぐ「地域」と「みらい」  
仙台市事業再構築チャレンジセミナー

2022年11月7日

# アジェンダ

1. アスリートから経営者へ
2. Bリーグ将来構想  
～新B1への挑戦～
3. 仙台89ERSの現在地と経営戦略
4. 仙台の街とともに NINERS HOOP



## 志村 雄彦 しむら たけひこ

### 仙台89ERS 代表取締役社長

#### 経歴

- ・仙台市泉区将監出身 1983年2月14日生まれ
  - ・仙台高校出身。1999年同校ウィンターカップ初優勝  
翌年連覇、2000年には富山国体優勝などを経験。
  - ・慶應義塾大学に進学し4年時に関東大学リーグ、  
インカレで優勝を経験しMVP受賞。
  - ・2005年～2008年 東芝 背番号「10」  
2005年1月 オールジャパン(天皇杯)優勝
  - ・2008年～2018年 仙台89ERS 背番号「4」  
2011年3月に発生した東日本大震災による仙台の活動停止を受け  
選手救済制により、琉球ゴールデンキングスにレンタル移籍。
- 背番号「89」
- ・2018年7月 株式会社仙台89ERS 取締役GM就任
  - ・2020年7月 株式会社仙台89ERS 代表取締役社長就任

## 小学3年生から始める

## 本場アメリカでNBA観戦



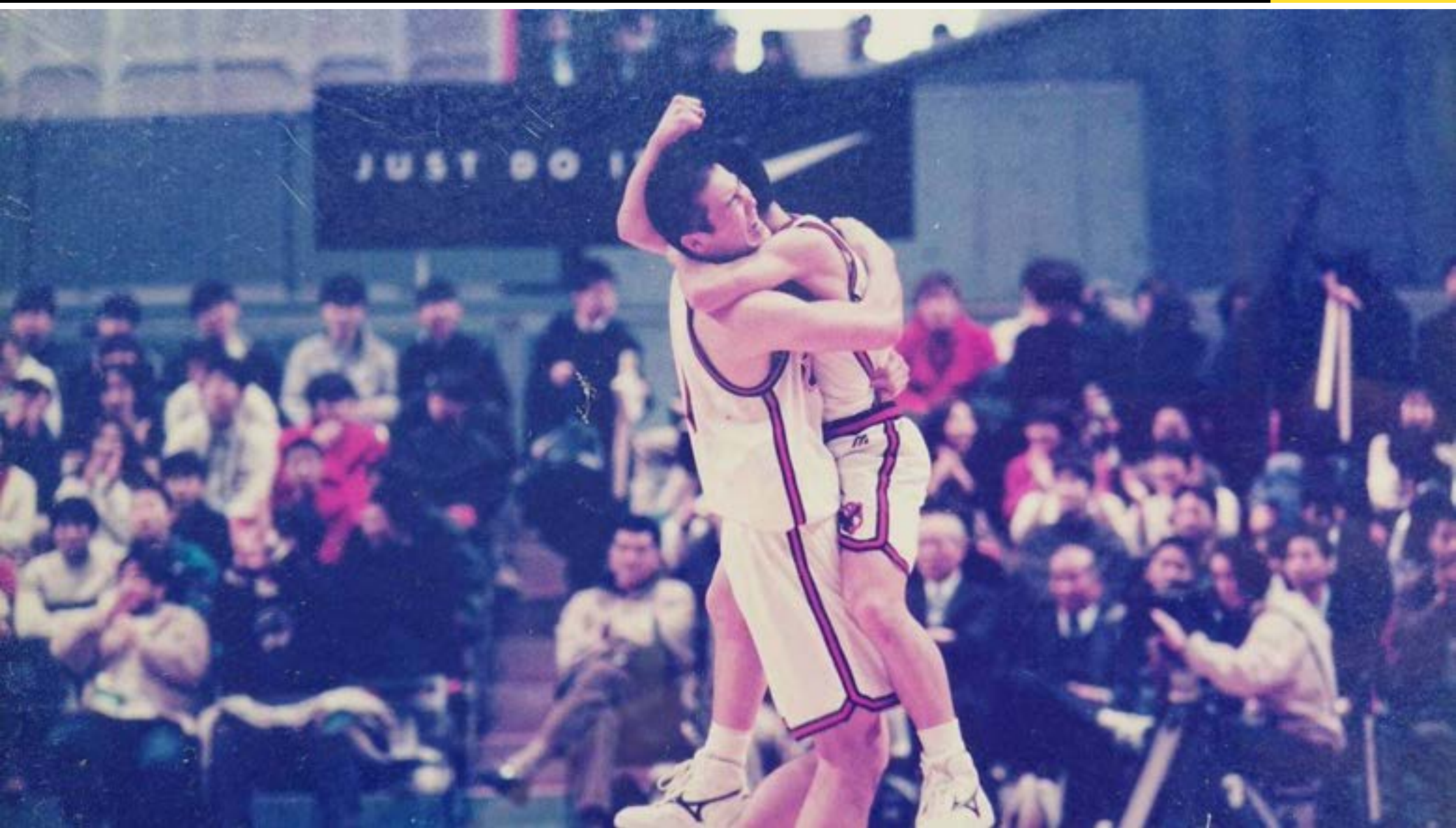
宮城県を代表して全国大会へ



衝撃的な出会い！

好きなことを見つける → 感じたものを素直に

# 仙台高校時代に日本一を経験





仙台高校時代三度の日本一！！



明確な目標、向上心を持ち続けた



トップリーグでの経験もジレンマも感じる

国内トップリーグであるNBLに所属、天皇杯（オールジャパン）では日本一を経験

変化を恐れずにチャレンジ  
だからこそ選手生活10年以上

変わらない自分であるために変  
わり続ける ↓

変わり続けられる自分自身！チャレンジし続ける



# 仙台89ERSに入団(2008)



# 2011年3.11東日本大震災発生 (チームは解散)

10



# 震災後89番を背負い琉球でプレー



仙台89ERSの灯を消してはいけない

仙台のため宮城のため  
大きな悲しみをおった  
故郷のため

なぜプレーし続けるのか？

誰のためにプレーし続けるのか？

どこでプレーし続けるのか

# 現役引退→取締役GM





## 自分自身のパフォーマンスの最大化

- ・常に準備し続ける
- ・パフォーマンスの安定
- ・変化し続ける



## 想い、ビジョンの共有

- ・多様なステークホルダー
- ・継続的、持続的な運営
- ・変化し続ける

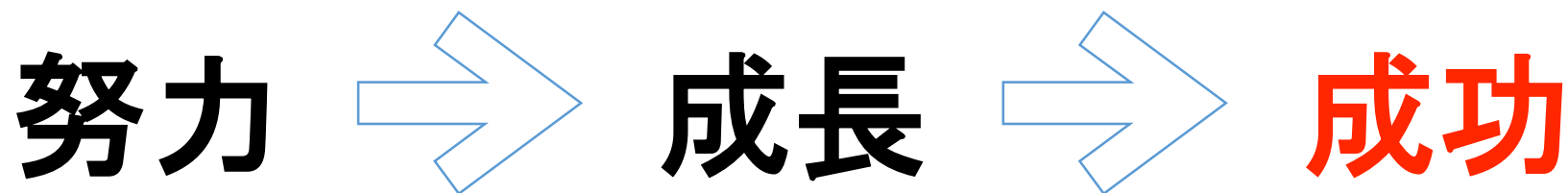
## 組織について大切にしていること

組織が目標まで辿りつけるよう導く

プレーヤー（職員・スタッフ）の  
パフォーマンスの最大化

想いを伝える（想いを聞く）

努力の報酬は成功ではなく成長



(成功するかしないかは運、成長するかしないかは選択)

成功とは成長の先にあるもの






## 企業理念(Mission)

バスケットボールを通じて、  
豊かな社会づくり・元気な仙台の街づくりに貢献する

大震災を経験した人々が持つ、  
助け合い、チームワークのスピリッツを  
バスケットボールで表現し、日本中、そして世界に発信する



スポーツの力で笑顔に

仙台89ERS 代表取締役社長

志村 雄彦 さん

# Bリーグ将来構想

2026年B1基準への挑戦



長期的に成長し、  
関わる人々を幸せにするために

Bリーグは、10シーズン目の2026-27シーズンに  
新たな制度で再始動いたします。

国内外の有望な選手がプレーする  
高いレベルの環境

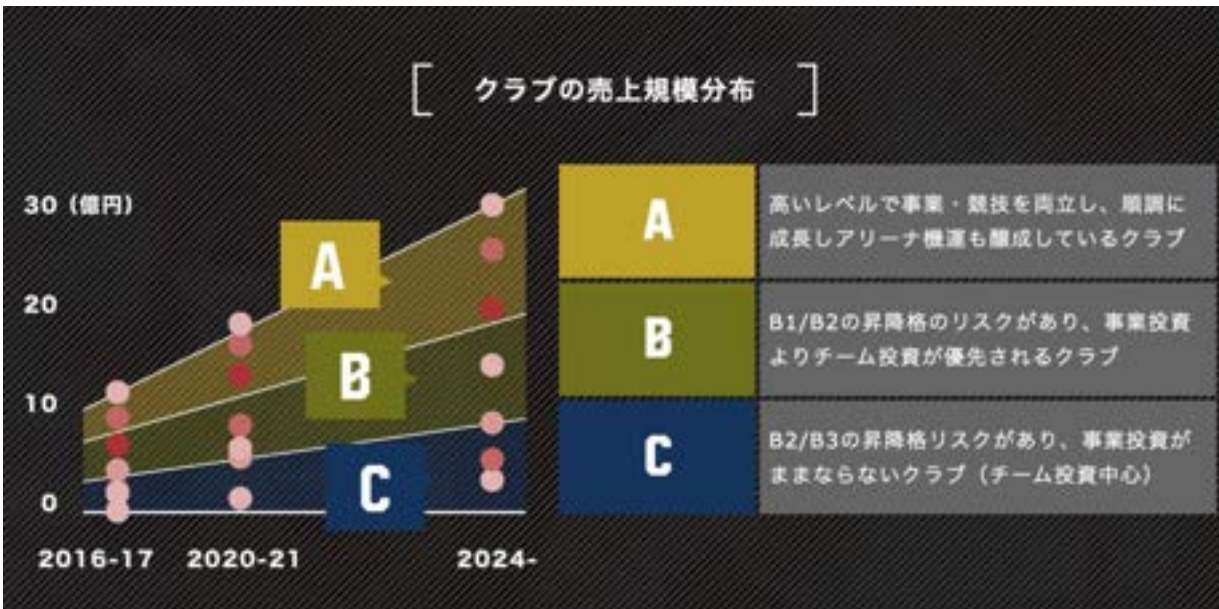
世界基準の競技力を誇り  
国際大会でも活躍するクラブの誕生

NBAに次ぐ  
世界第2位のリーグへ



## 「基準の引き上げ」、「昇降格の撤廃」で 事業にフォーカスできる環境へ

現行の制度のもとでは、高いレベルで事業・競技を両立し順調に成長するクラブが現れる一方で、昇降格リスクがあるためチーム投資が優先されてしまい、事業投資がままならないクラブも多く存在しています。新たな制度では、より高いレベルで事業力・競技力の拮抗を図るための「基準の引き上げ」、事業投資ができる環境を整え安定的な成長を促すための「昇降格の撤廃」により、クラブがより一層、事業にフォーカスできる環境を作ります。事業規模に3つのカテゴリーに分け、それぞれの役割を果たします。



## 世界と伍するクラブ＝新B1 と位置づけ、常に門戸を開く

クラブが地域に貢献し、成長を続けるための3つの要件。その基準を超えたクラブによる切磋琢磨で日本のバスケットを盛り上げます。そして、その門戸は常に開いており、クラブそれぞれの計画に沿って新B1を目指せます。

### 各ディビジョンのクラブが目指す姿

#### 新B1

- ▶ 世界基準の競技力・アリーナエンターテインメント、地域活性の中心
- ▶ ビジネスのグローバル化（世界市場・アリーナ）
- ▶ 世界標準の経営力（20億～30億円の売上、20%以上の利益率・投資力）

### 新B1入会基準



### スケジュール



事業力がなければクリアできない基準。初回審査は3年後の2024年10月

## 仙台89ERSは「新B1」を目指していきます！

### REGULATION

～世界と伍するクラブ＝新B1と位置づけ、常に門戸を開く～

#### <新B1入会基準>

入場者数

平均 4,000名以上

事業の基盤

売上

売上高 12億円以上

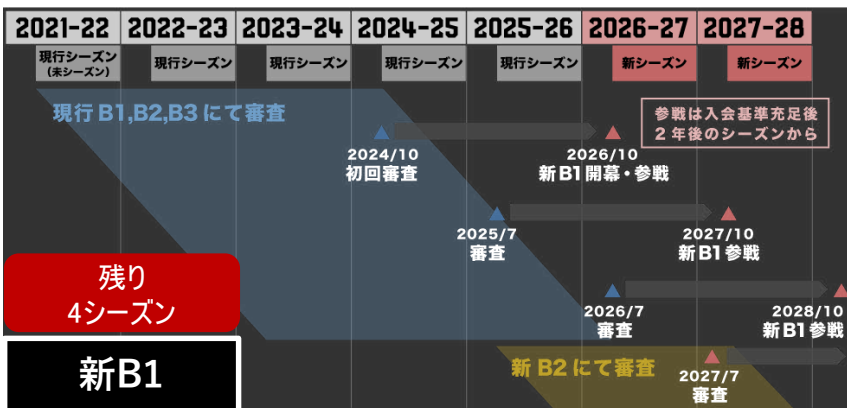
事業投資の裏付け

アリーナ

新設アリーナ基準充足

事成長の原動力

#### <スケジュール>



「新B1」へ参入するには、  
皆様のお力が絶対に必要です！

4シーズン後に一緒に  
「新B1」にいきましょう！！



# 現在地と経営戦略

# 現在地

## <新B1入会基準>

残り  
4シーズン

入場者数

平均 4,000名以上

事業の基盤

売上

売上高 12億円以上

事業投資の裏付け

アリーナ

新設アリーナ基準充足

事成長の原動力

## <2021-22終了時>



入場者数: 1,628名 (29試合)  
※3,280名 (4試合消化)

売上高 5.5億円

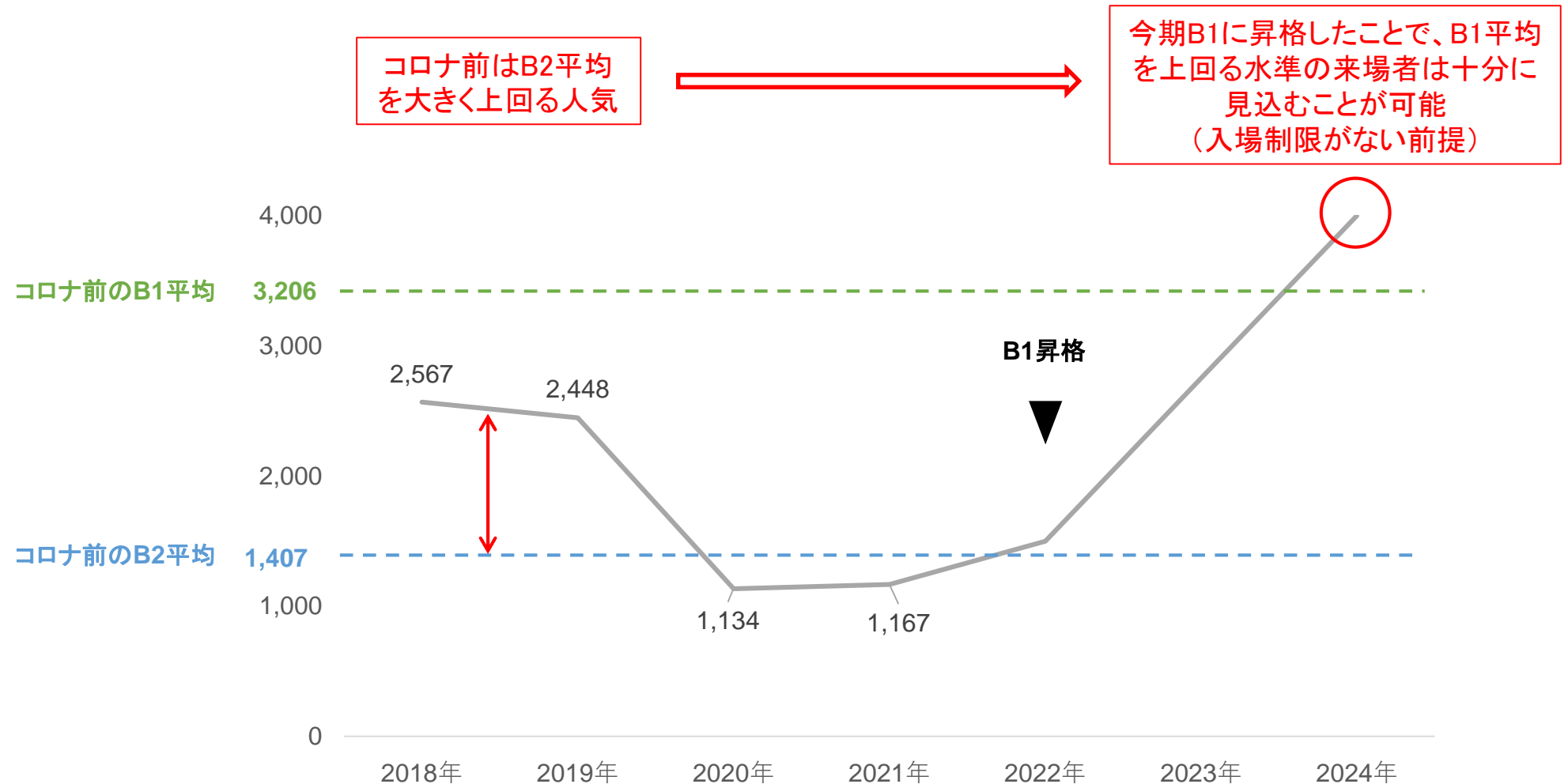
大きなギャップ



改修が必要ゼビオアリーナ仙台でも  
アリーナ基準は充足できず

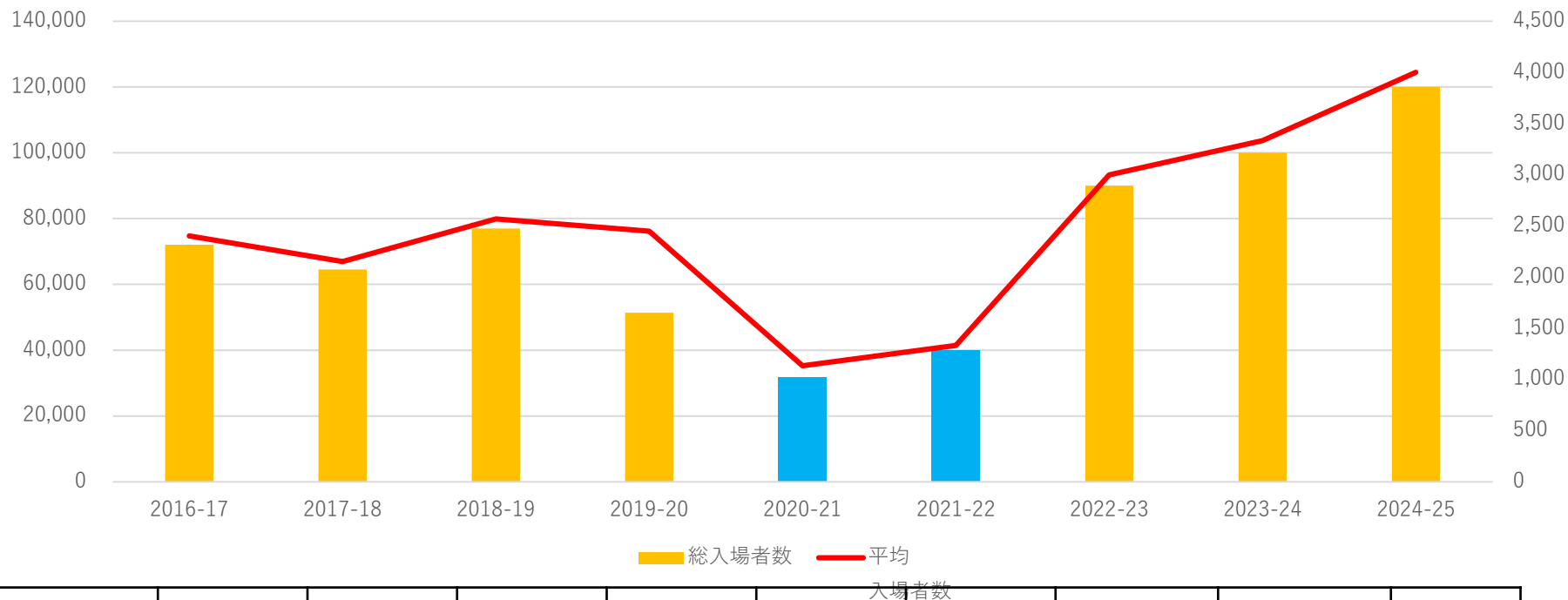
# 昇格基準の充足：①平均来場者数4,000人

### 来場者数の過去推移及び将来見込み



# 昇格基準の充足：①平均来場者数4,000人

動員数



総入場者数	72,036	64,566	77,019	51,414	31,760	40,000	100,000	120,000	126,000
平均入場者数	2,401	2,152	2,567	2,448	1,134	1,333	3,333	4,000	4,200
	B1	B2	B2	B2	B2	B2	B1	B1	B1

# 昇格基準の充足：②売上高12億円 FY2022事業計画：スポンサー収入

29

## 【目標】売上：4.2億円

### 2021-22シーズン売上

種別	年間予算	累計実績	年間進捗率
スポンサー継続	234,000	226,331	96.7%
スポンサー新規	30,000	19,399	64.7%
ゲームスポンサー	20,000	18,650	93.3%
小口・応援協賛、サポーター	5,000	34,906	698.1%
広告製作費	1,000	1,488	148.8%
合計	290,000	300,774	103.7%

### 2022-23シーズン売上予算

種別	合計
スポンサー継続	250,000
スポンサー新規	106,000
ゲームスポンサー	42,000
小口協賛、応援協賛、サポーター	19,000
広告製作費	3,000
合計	420,000

### 【重点ポイント】

#### ・既存顧客の増額継続

→ B1でのゲームでの観客数増加やメディア露出増加による価値上昇を訴求

#### ・新規顧客の増加

→ 既存の広告枠に捉われないアクティベーションでの新規獲得

→ ナショナルクライアント獲得のために首都圏での活動を実施

#### ・顧客単価の増加

→ 継続・新規に関わらず顧客にとっての価値を向上する

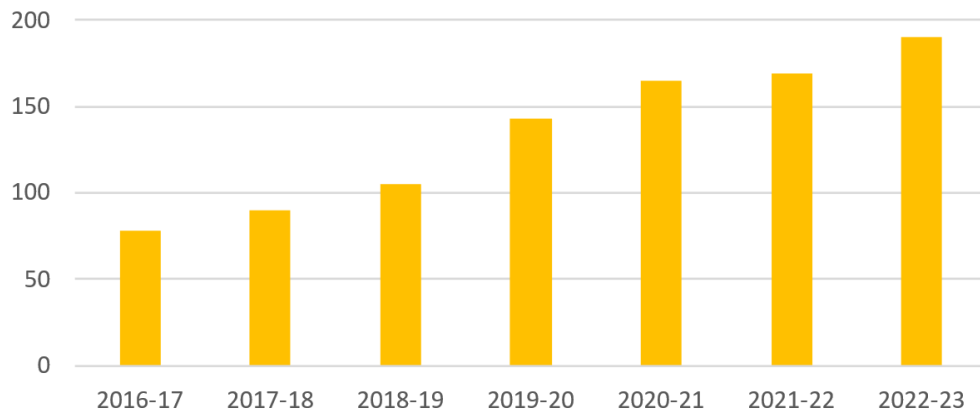
例) NINERS HOOP SDGs活動などの動きをより活発化し、プレゼンスを高める

# 昇格基準の充足：②売上高12億円 スポンサー収入過去実績・FY2022計画

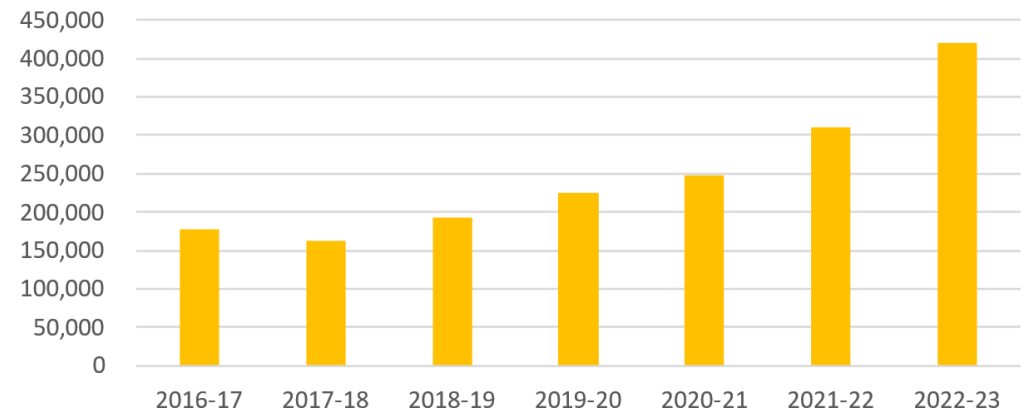
30

シーズン	所属	種別	スポンサー社数			スポンサー売上			平均単価		
			社数	前年差	前年比	金額	前年差	前年比	金額	前年差	前年比
2016-17	B1	実績	78	-	-	178,100	-	-	2,283	-	-
2017-18	B2	実績	90	12	115.4%	161,800	-16,300	90.8%	1,798	-486	78.7%
2018-19	B2	実績	105	15	116.7%	192,853	31,053	119.2%	1,837	39	102.2%
2019-20	B2	実績	143	38	136.2%	225,130	32,277	116.7%	1,574	-262	85.7%
2020-21	B2	実績	165	22	115.4%	247,608	22,478	110.0%	1,501	-74	95.3%
2021-22	B2	実績	169	4	102.4%	310,419	62,811	125.3%	1,837	336	122.4%
2022-23	B1	計画	190	21	112.4%	420,000	109,581	135.3%	2,211	374	120.4%

スポンサー社数



スポンサー売上

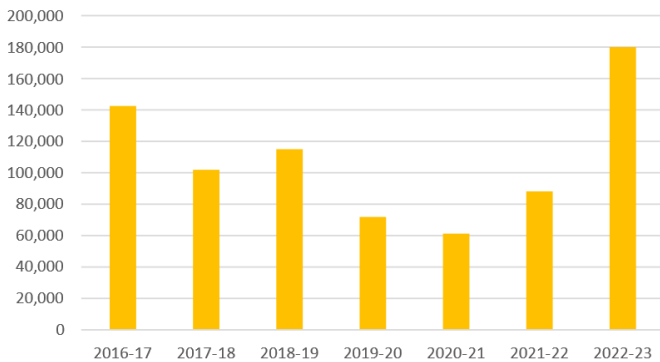


# 昇格基準の充足：②売上高12億円 入場料収入過去実績・FY2022計画

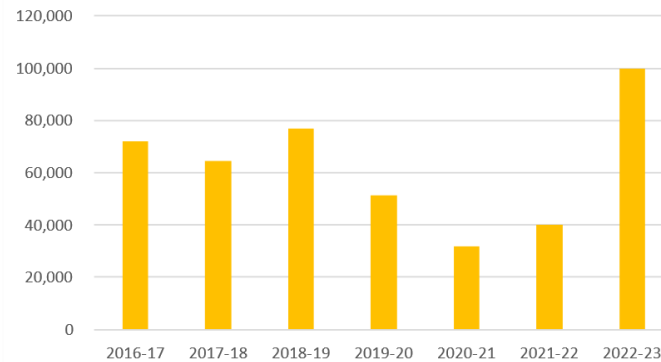
シーズン	所属	種別	売上	前年比	入場者数	入場客単価	前年比
2016-17	B1	実績	142,384	-	72,036	¥1,977	-
2017-18	B2	実績	101,969	71.6%	64,566	¥1,579	79.9%
2018-19	B2	実績	115,048	112.8%	77,019	¥1,494	94.6%
2019-20	B2	実績	72,042	62.6%	51,414	¥1,401	93.8%
2020-21	B2	実績	61,033	84.7%	31,760	¥1,922	137.1%
2021-22	B2	実績	88,344	144.7%	39,993	¥2,208	116.0%
2022-23	B1	計画	180,000	241.4%	100,000	¥1,800	81.5%

※2021-22シーズンの売上にはプレーオフの約16,000千円の売上を含み、入場者数7,239人は含まず

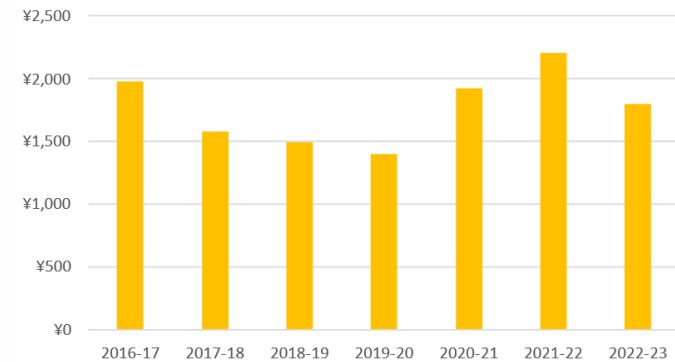
チケット売上



入場者数



入場者単価



## ゼビオアリーナ仙台改修案

- 89ERSのホームアリーナのゼビオアリーナは、現時点でアリーナ要件に近い水準を持つ
- 平均入場者数(4,000人)実現のため、一時的にゼビオアリーナのキャパを拡大させる必要があるアリーナ要件を満たすためには、改修工事(増席、ラウンジ新設、LED照明、ビジョン入れ替えなど)が必要

※イメージ





参考：沖縄アリーナ

沖縄アリーナ

# 沖縄アリーナ



正式名称：沖縄アリーナ

収容人数：10,000人

管理運営：沖縄アリーナ株式会社

着工：2018年9月25日

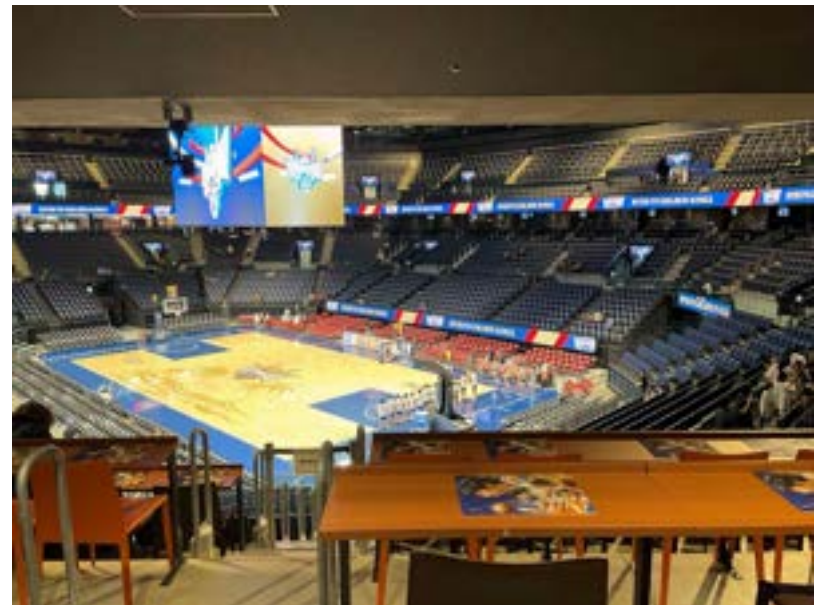
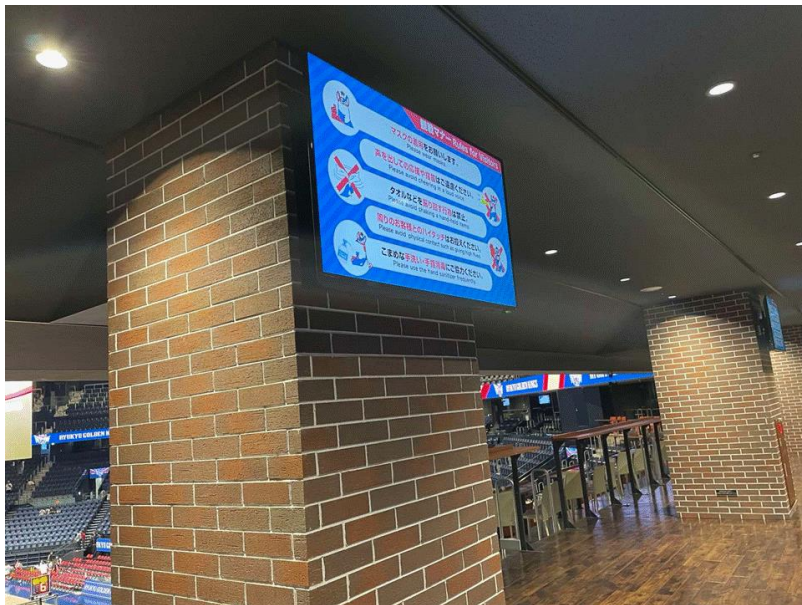
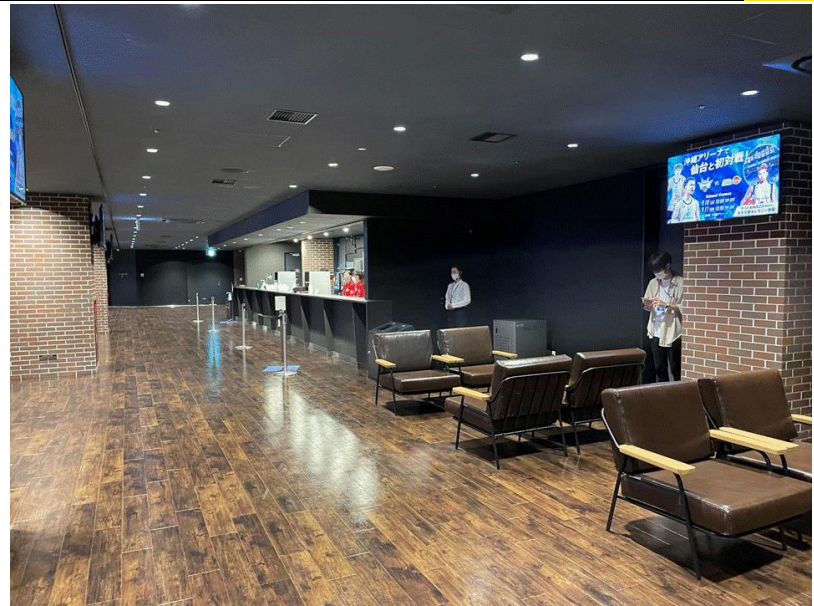
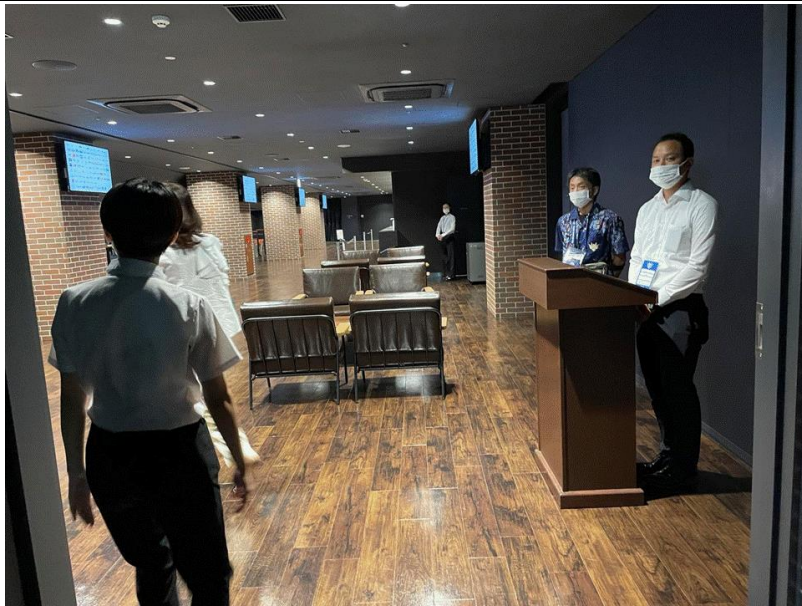
所在地：〒904-0034

沖縄県沖縄市山内1-16-1

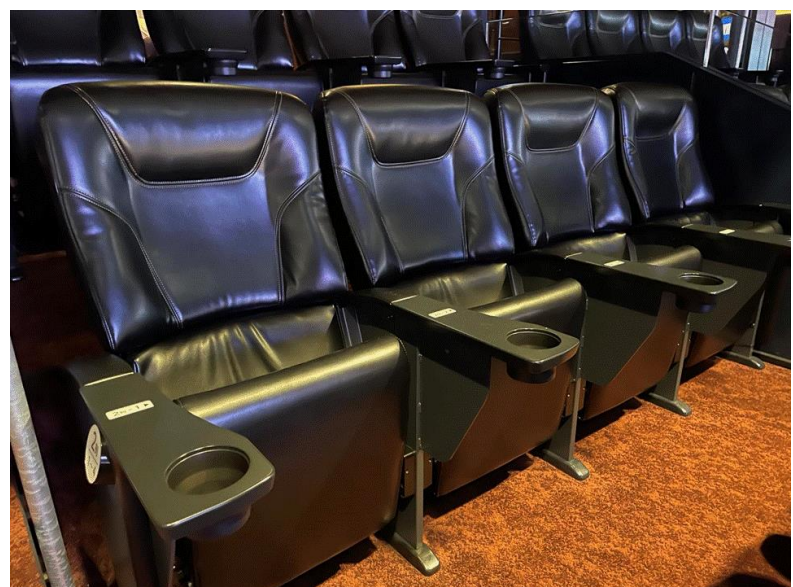
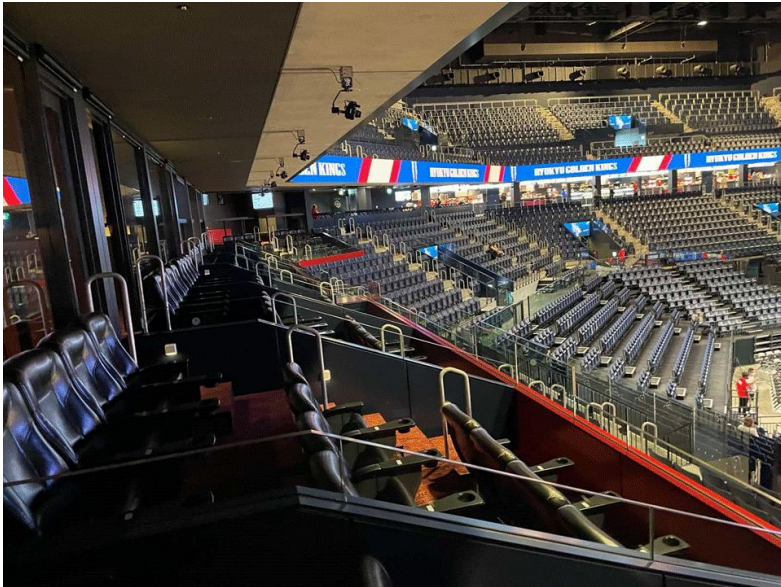


沖縄アリーナ

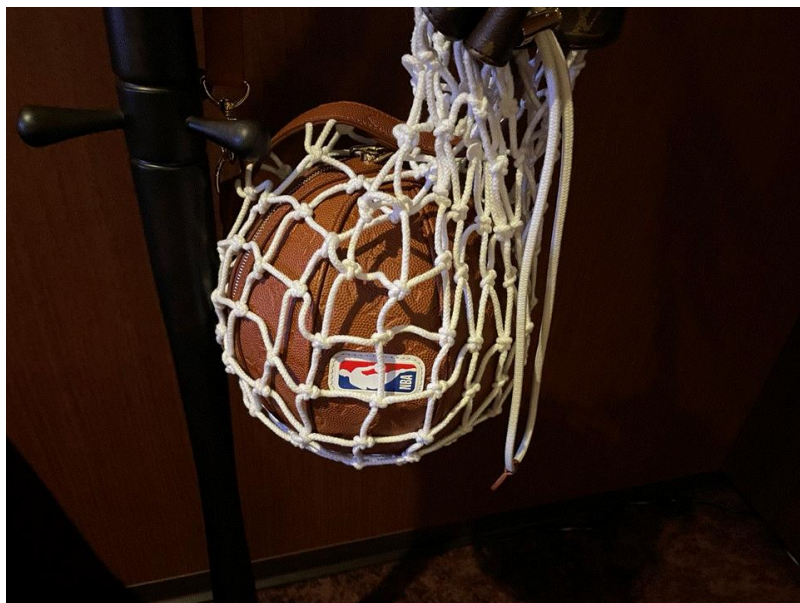
# SUITEルーム (3F)



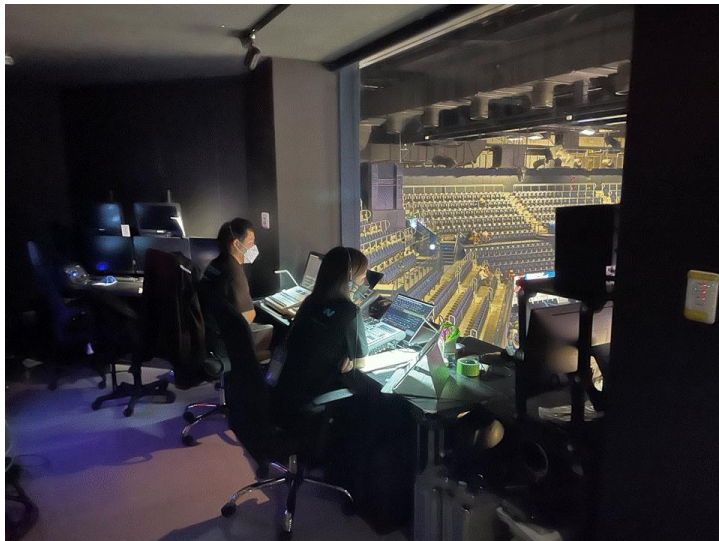
# SUITEルームバルコニー



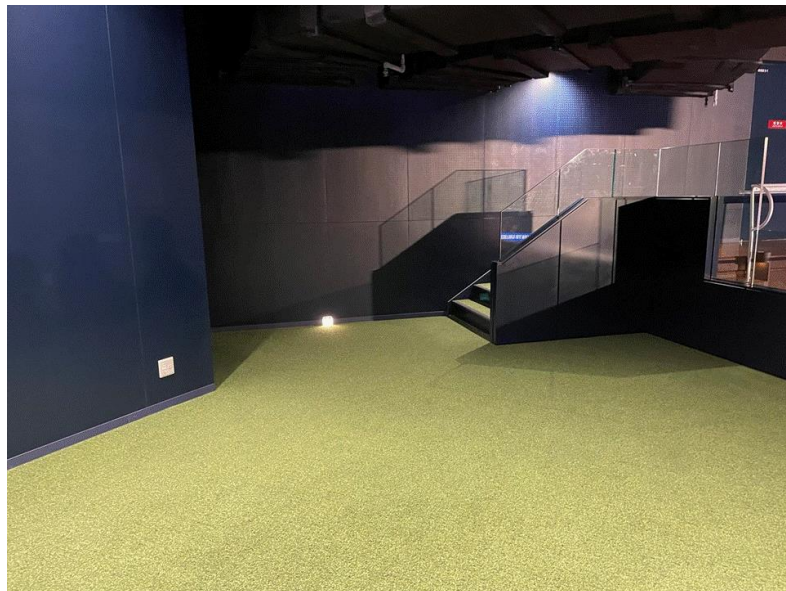
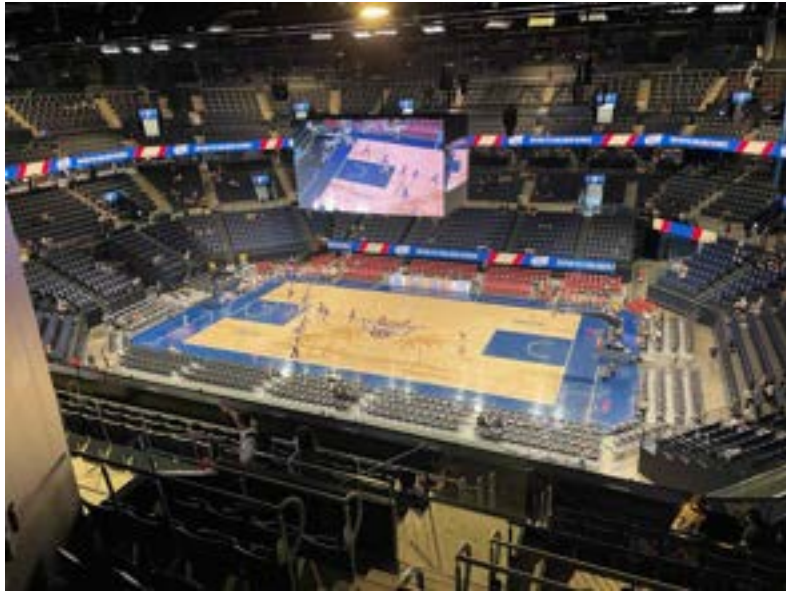
# SUITEルーム



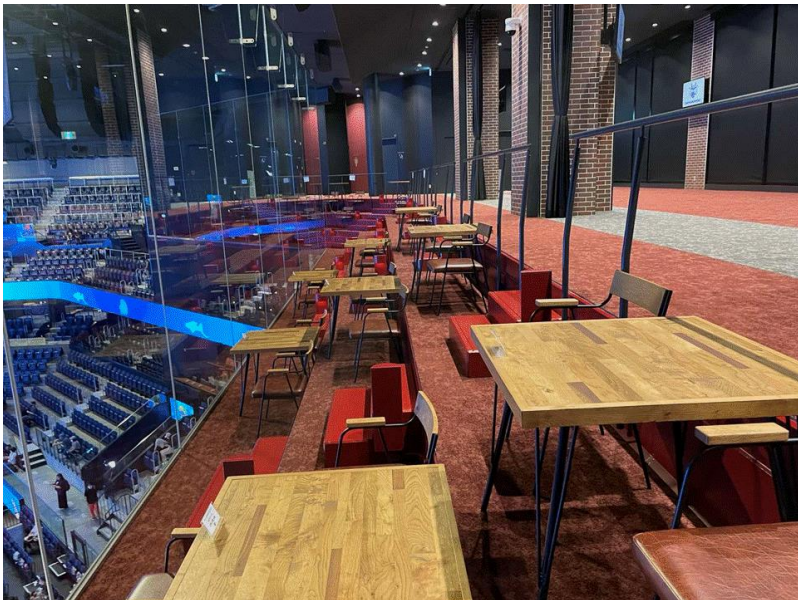
# 放送/映像室



# 最上階 (6F観客席/立ち見)

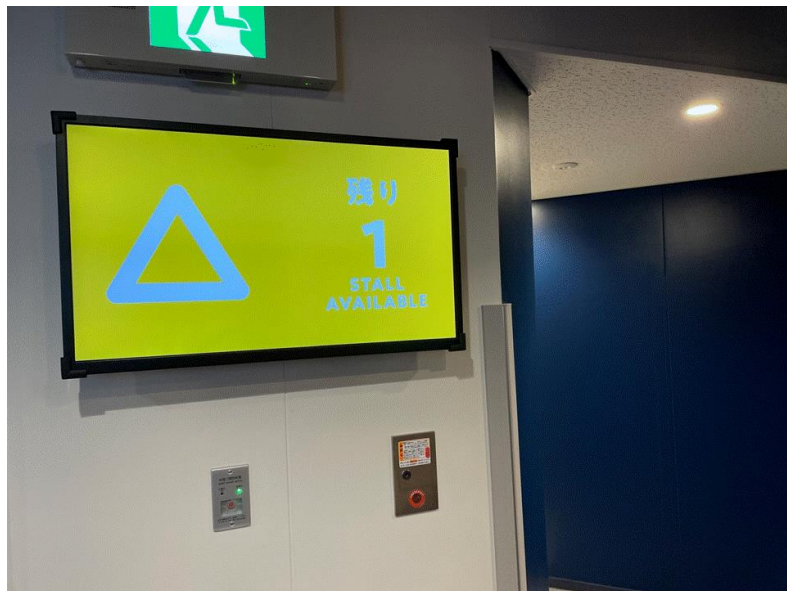
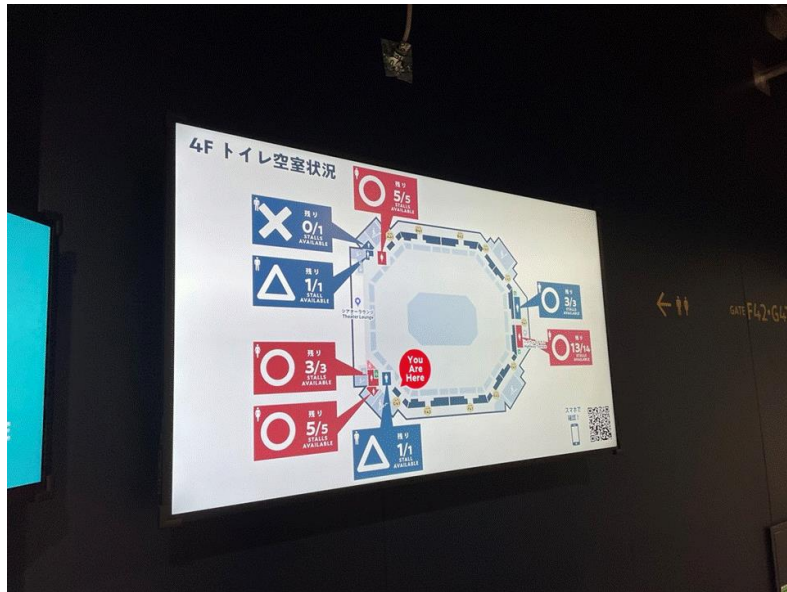


# 最上階(6Fラウンジシート)

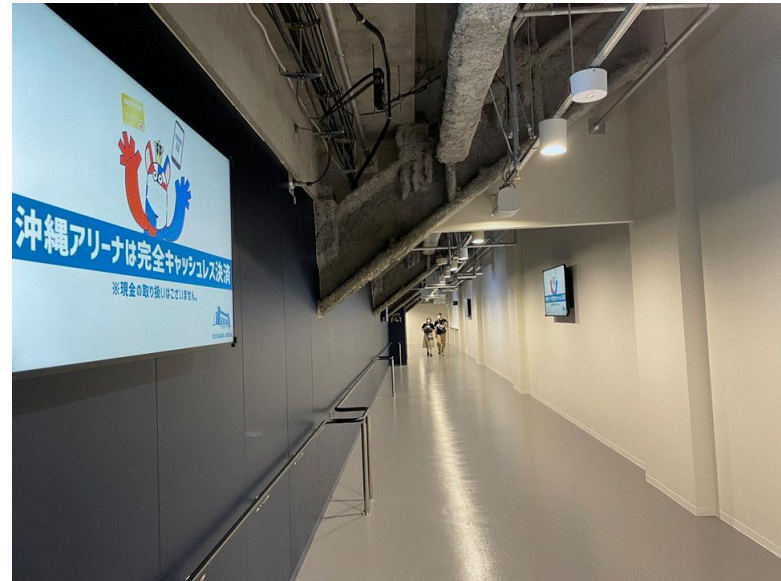




# サイン関連



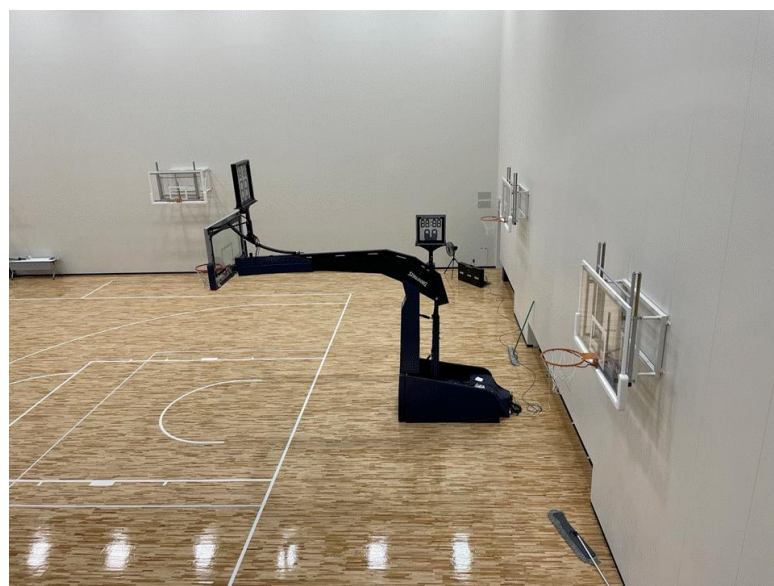
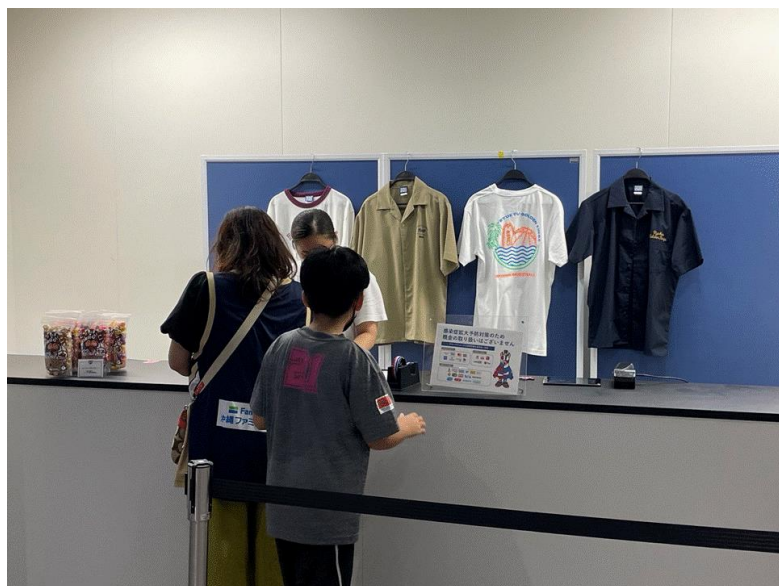
# 裏導線～コンコース



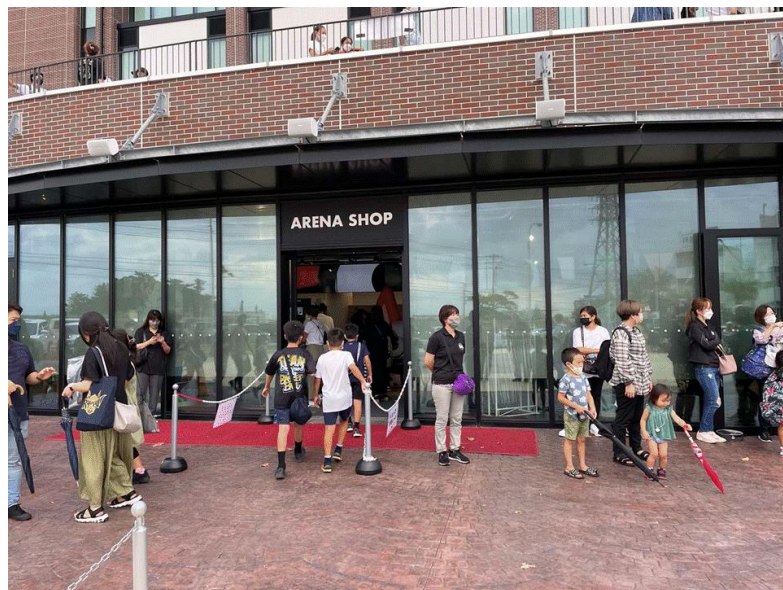
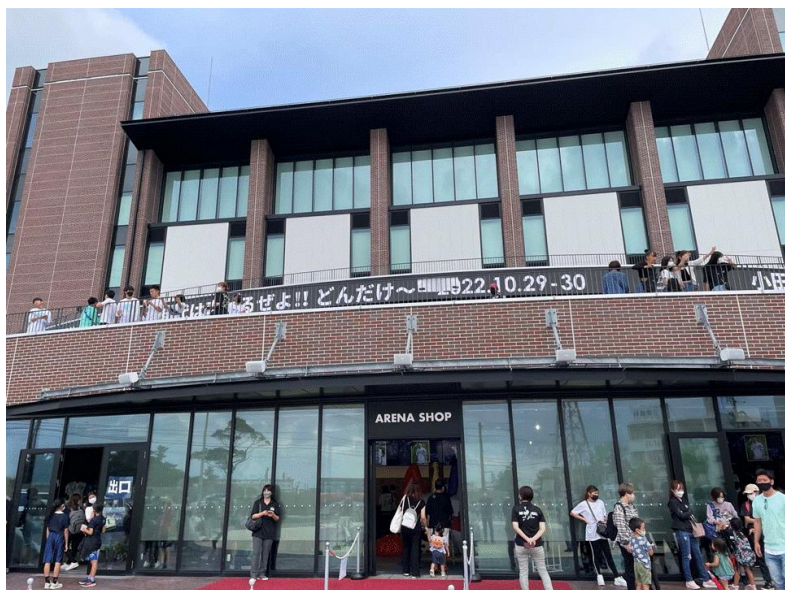
# コンセッション



# コンコース内グッズショップ & ブース / 練習場



# 外觀



# グッズショップ



# グッズショップ



# メインビジョン





# 試合前演出



# 仙台の街とともに

NINERS HOOP SDGs

# 変化を恐れずにチャレンジし続ける



クラブの経営者として地域の課題に対してプロスポーツクラブとして  
ポジティブなメッセージを伝えていきたい。  
生まれ故郷である、仙台・宮城に恩返しをしていきたい。  
バスケットボールを通して人の「和」を伝えていきたい。





2020-21シーズン、東日本大震災から10年の節目に、仙台89ERSは『NINERS HOOP』と銘打ち、ナイナースがつなぐ「地域」と「未来」というコンセプトのもと、地域のため、未来を担う子どもたちのために、さまざまな活動をスタートさせました。

そして2021-22シーズン、『NINERS HOOP』をさらに拡大させるべく、国連が定めた持続可能な開発目標「SDGs」にも、クラブ一丸となって取り組んで参ります。

「SDGs」の活動をクラブが積極的に取り組むことで、SDGsがより身近な存在となり、皆さまとともに活動していくきっかけになればと思っています。





## ナイナースが“つなぐ”「地域」と「未来」



## SUSTAINABLE DEVELOPMENT GOALS

仙台89ERSは持続可能な開発目標を支援しています。



### CONCEPT コンセプト

2020-21シーズン、東日本大震災から10年の節目に、仙台89ERSは『NINERS HOOP』と銘打ち、ナイナースがつなぐ「地域」と「未来」というコンセプトのもと、地域のため、未来を担う子どもたちのために、さまざまな活動をスタートさせました。

そして2021-22シーズン。

『NINERS HOOP』をさらに拡大させるべく、国連が定めた持続可能な開発目標「SDGs」にも、クラブ一丸となって取り組んで参ります。スポーツの力を通じて地域社会の課題解決に向き合い、「地域」の皆さんとともに持続可能な「未来」に向けて活動いたします。

「SDGs」の活動をクラブが積極的に取り組むことで、SDGsがより身近な存在となり、皆さまとともに活動していくきっかけになればと思っています。

### ACTION 2021-22シーズンのSDGs活動内容

足こぎ車いすで観に憧れよう!  
「COGY」寄贈プロジェクト



仙台89ERSがホームゲームで89点以上の得点をして勝利した試合1試合につき、体の不自由なお子様足こぎ車いす「COGY」を1台寄贈させていただきます。

子どもたちにバスケットボールの楽しさを  
ボール寄贈プロジェクト



ご希望の学校、施設、チームの子どもたちに企業名×仙台89ERSのロゴがプリントされたオリジナルボールを寄贈させていただきます。

長町をナイナースイエローに染めよう!  
イエロープロジェクト



あすと長町を中心にホームタウンをナイナースイエローに染めようという企画です。ナイナースイエローの花を子どもたちと植える活動を行います。

子どもたちが活躍! 長町を盛りあげよう!  
ほくらの長町黄団隊



仙台89ERSと一緒に長町地域を盛り上げるとともに、自分たちの地域に愛着を持ち、主体的に地域を良くしていこうと活動できる子どもの育成を目指すことを目的としております。

## ACTION 2021-22シーズンのSDGs活動内容

プロ選手の演出で子どもたちに特別な体験を  
[NINERS HOOP GAME]



宮城県の子どもたちの経験の場として、ゼビオアリーナ仙台で開催するホームゲームでプロ選手と同じコートでの試合機会を提供しております。

片岡大晴選手発案～想いをつなぐ～  
空飛ぶ絵本プロジェクト



あすと長町を中心にホームタウンをナイナースズイエローに染めようという企画です。ナイナースズイエローの花を子どもたちと植える活動を行います。

バスケットボールで愛人と地球を結びたい  
仙台放送局×宮城県人権擁護委員連合会  
×仙台89ERS連携協定



仙台89ERSと一緒に長町地域を盛り上げるとともに、自分たちの地域に愛着を持ち、主体的に地域を良くしていこうと活動できる子どもの育成を目指すことを目的としております。

仙台89ERSのホーム・裏街を綺麗に！  
清掃活動の実施



ホームアリーナ周辺を中心に清掃活動を行っています。今後も清掃活動で住み良い街づくりに貢献して参ります。

## NINERS HOOP SDGs デー 12月29日(水)

### みんなで知ろう! SDGs! SDGsデー

#### ■当日の実施内容

- ①SDGsを知ろう! 17の課題解決カードで「My SDGs宣言」!
- ②「NINERS HOOP」×「SDGs」2021活動写真展
- ③片岡大晴選手発案! 想いをつなぐ「空飛ぶ絵本」プロジェクト
- ④フードロスをなくそう! 「ナイナースズフードバンク」
- ⑤COGY寄贈セレモニー など



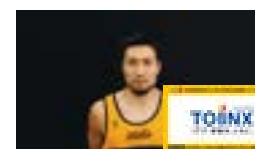
## メディア露出 / 活動PR ※自社媒体

■テレビ / CM  
L仙台放送、NHK、東日本放送  
宮城テレビ、東北放送等

■新聞 / 新聞広告  
L河北新報、スポーツ報知  
日刊スポーツ、読売新聞等

■SNS  
LTwitter、Instagram

■WEB(LP)  
Lバスケットカウント等







仙台89ERSでは地域に密着したホームタウン作りを進めるため、バスケットボールを通じ、豊かなスポーツ文化の振興、健全な青少年の育成、地域住人の心身の健全な発達に寄与する取り組みを行っています。このような活動趣旨にご賛同いただいた企業様とともに、これからの社会を担いスポーツに励むこどもたちへの活動をサポートさせていただきたいという思いのもと「ボール寄贈プロジェクト」を行っています。

2020-21シーズン

No.	ご協賛企業名	寄贈先情報/対象学年	サイズ	個数
1	株式会社洞口商事	名取市立増田中学校	7	5
2	株式会社弘進ゴム	白石工業高校	7	5
3	株式会社藤崎①	金ヶ瀬ニュースターズ	5	10
4	株式会社藤崎②	大河原・加美町ミニバス	5	10
5	株式会社松居組①	古川工業高校	7	5
6	株式会社松居組②	仙台89ERSバスケットボールスクール	5	10
7	株式会社鈴木工業	仙台城南高等学校	7	5
8	株式会社菊電社	仙台89ERSバスケットボールスクール	5	5
9	株式会社武蔵野電設	南三陸の子どもたち	5	10
10	株式会社高浜	仙台キリスト教育児院	5	10
			合計数	75

2021-22シーズン

No.	ご協賛企業名	寄贈先情報/対象学年	サイズ	個数
1	森下興業株式会社	仙台高校バスケットボール部	7	5
2	株式会社タイハク	白石工業高校	7	5
3	株式会社藤崎	名取南ミニバスケットボールクラブ	5	10
4	弘進ゴム株式会社	宮城県工業高校男子バスケットボール部	7	5
5	鈴木工業株式会社	仙台城南高等学校	7	5
6	株式会社港金属	仙台89ERSバスケットボールスクール	5	10
7	千葉デンタルオフィス	中学バスケットボール部予定	7	6
8	株式会社菊電社	仙台89ERSバスケットボールスクール予定	7	5
9	株式会社武蔵野電設	南三陸町の子どもたちに寄贈予定	5	10
10	株式会社松居組	仙台89ERSバスケットボールスクール予定	5	10
			合計数	71



仙台89ERSがホームゲームで89点以上の得点をして勝利した試合1試合につき、体の不自由なお子様  
に足こぎ車いす「COGY」を1台寄贈させていただきます。

2020-21シーズンは、仙台市を中心とした病院や施設、必要とされている方に合計11台、2021-22シーズンは5台を寄贈予定です。

## 2020-21シーズン

No.	開催日程	対戦相手	結果	会場	寄贈先
1	2019年12月13日(金)	アースフレンズ東京Z	○95-89	ゼビオアリーナ仙台	古川支援学校
2	2019年12月14日(土)	アースフレンズ東京Z	○90-85	ゼビオアリーナ仙台	石巻支援学校
3	2020年1月25日(土)	福島ファイヤーボンズ	○89-80	ゼビオアリーナ仙台	菅野 恵さん
4	2020年2月1日(土)	熊本ヴォルターズ	○89-65	ゼビオアリーナ仙台	児童発達支援センター「仙台市なかよし学園」職員
5	2020年12月20日(日)	福島ファイヤーボンズ	○91-79	加美町陶芸の里スポーツ公園	多賀城市立天眞小学校(校長先生)
6	2020年12月27日(日)	佐賀バルーンズ	○95-81	豊米市豊米総合体育館(とよま蔵ジウム)	東北大学病院(深澤様)
7	2021年1月24日(日)	愛媛オレンジバイキングス	○97-82	カメイアリーナ仙台(仙台市体育館)	
8	2021年2月13日(土)	群馬クレインサンダーズ	○99-93	ゼビオアリーナ仙台	瀧町小学校(櫻田様)
9	2021年2月28日(日)	香川ファイブアローズ	○90-88	南三陸総合体育館(バイサイドアリーナ)	日本赤十字社 仙台赤十字病院
10	2021年3月13日(土)	青森ワッツ	○91-65	ゼビオアリーナ仙台	
11	2021年4月25日(日)	群馬クレインサンダーズ	○93-80	ゼビオアリーナ仙台	

## 2021-22シーズン

No.	開催日程	対戦相手	結果	会場	寄贈先
1	2021年10月24日(日)	愛媛オレンジバイキングス	○90-85	登米市登米総合体育館(とよま蔵ジウム)	石巻赤十字病院
2	2022年1月8日(土)	アースフレンズ東京Z	○92-72	本山製作所青葉アリーナ(青葉体育館)	仙台市
3	2022年1月9日(日)	アースフレンズ東京Z	○91-75	本山製作所青葉アリーナ(青葉体育館)	富谷市
4	2022年4月16日(土)	福島ファイヤーボンズ	○90-67	ゼビオアリーナ仙台	名取市
5	2022年4月27日(水)	青森ワッツ	○94-56	塩釜ガス体育館	加美町予定

# 空飛ぶ絵本



2021年のホームゲームで来場いただいた皆様から読まなくなった絵本を集めて、県内の児童館や施設に寄贈いたしました。

絵本を通じて、親子の時間を創出し、こどもたちの夢を後押しし、明るい未来へつなぐきっかけを作りたい！という片岡選手の発案です

ナイナースの本拠地あすと長町のゼビオアリーナ敷地内に、11月21日に子供たちと一緒にナイナースイエローのチューリップの球根を植えます。プレーオフの頃にはアリーナ周辺をナイナースイエローに染めようという企画です。NINERS HOOP の一環で地域のこどもたちとともにいき、試合もご招待しました。



# NINERS HOOP ボール寄贈プロジェクト

61



仙台89ERSでは地域に密着したホームタウン作りを進めるため、バスケットボールを通じ、豊かなスポーツ文化の振興、健全な青少年の育成、地域住人の心身の健全な発達に寄与する取り組みを行ってます。

このような活動趣旨にご賛同いただいた企業様とともに、これからの社会を担いスポーツに励む子供達への活動をサポートさせていただきたいという思いのもと「ボール寄贈プロジェクト」を行ってまいります。

# 足こぎ車いす「COGY」寄贈プロジェクト



仙台89ERSがホームゲームで89点以上の得点をして勝利した場合に、体の不自由なお子様には足こぎ車いす「COGY」を選手から寄贈させていただきました。  
ナイナーズの勝利がたくさん笑顔につながりますように。

# NINERS HOOP SDGsデー



ゲームに来てくださった方々にSDGsについて知ってもらい、考えてもらう一日ということで12/29のゲームではご来場頂いた皆さんにもSDGsを身近に感じてもらう企画を行いました。





## 「仙台の誇りとなるクラブ」

### 誇りとなる クラブ

- 地域ロイヤリティを体現・表現
- 仙台らしさ、仙台・宮城をバスケットを通して感じてもらう
- 地域とのつながり 地域密着に特化したクラブ

### 愛される クラブ

- サービス向上 (ファンサービス)
- 地域貢献活動 (NINERS HOOP SDGs)

**年間動員10万人**  
**平均入場者数:3,333人**

仙台89ERS

仙台89ERSは、  
宮城・仙台を盛り上げられる  
チームになるために  
挑戦し続けます!